



ボランティアいきいき会 感謝状贈呈式を実施

令和5年6月21日(水)、ボランティアいきいき会感謝状贈呈式を開催し、活動員及び職員約40名が参加しました。贈呈式では、環境美化活動など、当院へご貢献いただいた7名の活動員のみなさんに感謝状を授与しました。



看護職場体験学習を実施

令和5年6月13日(火)～14日(水)、看護職場体験学習を実施しました。今回の体験では、済美高等学校から34名の高校生が参加し、各病棟に分かれて看護の現場体験に臨みました。



愛媛県知事との懇談会を実施

令和5年9月25日(月)、今年度入学した医学部医学科地域枠の1年生19名が愛媛県庁を訪問し、中村時広知事と懇談しました。



愛媛大学医学部附属病院

〒791-0295 愛媛県東温市志津川454 ☎089-964-5111 (代)

情報発信中!



愛媛大学医学部附属病院
ホームページ



医学部及び附属病院
Instagram
(2021年2月1日開設)



杉山隆病院長がパーソナリティを務めるラジオ番組
Dr.杉ちゃんの「ウィークエンドクリニック」
(2021年4月3日スタート、毎週土曜17:30～FM愛媛)



令和5年9月29日に
医学部は創立50周年を
迎えました。

医学部創立50周年
記念WEBサイトはこ
ちらからご覧ください。



- 記念のご挨拶
 - 寄附のお願い等
- 順次更新中です。

編集後記

本号では、新任教授の先生に寄附講座の今後の展望について熱く語っていただきました。寄附講座は、愛媛県をはじめとする自治体や病院、企業等からの寄附により設置されています。これらの講座は、大学病院の各診療科が持つ特徴を地域医療に役立てるための重要な拠点です。先生方の地域医療にかける想いをぜひご一読ください。

広報委員会委員長
熊木天児



今月の表紙

早期医療体験実習(整形外科助教・木下智文、医学部1年生) 整形外科外来にて



EHIME UNIVERSITY HOSPITAL 愛媛大学医学部附属病院 広報誌

AUTUMN 2023

地域のニーズにこたえる医療体制

- 01 | 南松山病院とのシームレスな連携で、適切で迅速な手術を
- 02 | 地域の声に広く耳を傾け、対話と連携で地域医療を担う
- 03 | 診療から入院までスムーズな治療提供と、専門育成
- 04 | 感染症対策で愛媛県全体の医療の質を盤石に



先進呼吸器外科学講座の紹介

南松山病院とのシームレスな連携で、適切で迅速な手術を

先進呼吸器外科学講座 教授 佐野由文

先進呼吸器外科学講座は、これからの地域医療形態のモデルケースとなるようなセンターを作る構想をもとに設置されました。当院の呼吸器のサテライトセンターを置くイメージで、患者さんはもちろん医師をはじめとしたスタッフもシームレスに行き来する関係を目指します。講座設置によって、大きく変わることは2つあります。1つは1〜3カ月くらい待っていたいる手術の待機時間解消です。当院と南松山病院の得意分野の違いを補い合うことで、手術を必要とする患者さんに迅速に対応できるようになります。2つ目は、呼吸器外科の医局員が9人になり、多くの症例に接することで一人一人が十分な研鑽を積むことができます。私たちの講座では、呼吸器外科の分野で手術できない症例はない、という自信があります。当院にはさまざまな診療科がそろっているので、持病がある患者さんも専門のスタッフと共に診療ができます。患者さんも、医療関係者の皆さんにも遠慮なく頼っていただきたいと思います。



PROFILE

さのよしふみ◎1985年山口大学卒業。岡山大学講師より2010年当院呼吸器センター長として着任。専門は低侵襲手術（単孔式胸腔鏡下手術、ロボット支援手術）、拡大手術など。



先進呼吸器外科学講座
ホームページ

地域低侵襲消化器医療学講座の紹介

地域の声に広く耳を傾け、対話と連携で地域医療を担う

地域低侵襲消化器医療学講座 教授 石丸 啓

2020年に伊方町からの要請として寄附講座を作りませんか、という話をいただきました。大学で働いていた私にとって新しい挑戦であり、正直悩みました。が、話をいただいたということは私がやるべき仕事なんだ、という思いもあり決断しました。大学病院の役割は教育・臨床・研究だと言われてきましたが、すでに「地域」というキーワードは欠かせなくなっています。そして今後、さらに重要な位置を占めるようになると思います。大学病院として力を入れていく地域、その先頭を私が担っているという気持ちです。もう一つ、世界でも類を見ない少子高齢化を迎えていく日本の、さらに17年後の人口比率を体現しているのが今の伊方町の現状です。これからの人口減少社会での医療を、ひと足先に経験している状況です。だからこそ、私が経験していることを記録することで、そういう社会が到来したときによりよい医療が提供できるようになると思います。何よりも患者さんの話を聴くことから始め、自分から地域に飛び込んでいく覚悟です。



PROFILE

いしまるけい◎1995年浜松医科大学卒業。2014年から愛媛大学大学院医学系研究科消化管・腫瘍学講座に着任。2020年8月より新講座開設。専門は、消化器外科、一般外科、内視鏡外科。消化器、特に消化管を中心に診察。



地域低侵襲消化器医療学講座
ホームページ



前回掲載記事
「地域低侵襲消化器医療学講座の設置」
INVITATION64号

児童精神医学講座の紹介

診療から入院までスムーズな治療提供と、専門医育成

児童精神医学講座 教授 堀内史枝

児童精神医学講座は、愛媛県との協働のもと、愛媛県における子どもの精神科医療を発展させることを目的として設立されました。今は、子どもの患者さんが精神科での入院が必要となった場合、大人用の病棟で入院しています。2024年11月には愛媛県立子ども療育センターに子どもの患者さん専用の病棟ができます。入院が子どもたちの病気の「治療の場」としてだけでなく、「育ちの場」として機能することになります。加えて、児童精神医学を志す学生さんや若手医師らが、愛媛県内で外来診療から入院治療まで学べるようになります。本講座では、愛媛大学を基幹病院として専門資格の研修・教育を開始しており、今後は、愛媛発信で「子どものこころ専門医」を育てていく所存です。今は専門医が中予に偏っていますが、東・中・南予各地域で子どものこころの診療にアクセスできる地域づくりを目指します。加えて、病院を訪れる子どもたちだけでなく、地域の子どものこころが健康なところを育める環境づくりにも尽力したいと考えております。



PROFILE

ほりうちふみえ◎1998年愛媛大学医学部卒業。雄岡病院、ロンドン大学を経て2023年から現職。専門は児童青年精神医学。趣味はサウナ。



児童精神医学講座
ホームページ



前回掲載記事
「子どもこころセンター、移転」
INVITATION68号

感染制御学講座の紹介

感染症対策で愛媛県全体の医療の質を盤石に

感染制御学講座 教授 田内久道

感染制御部は、附属病院の一部門として院内での感染症の広がりをもどのように防ぐかに関して科学的な解析に基づき実践してきました。新型コロナウイルス感染症をきっかけに設置された感染制御学講座は、院内はもちろん、愛媛県全体を感染症のリスクから守ることを目標としています。そのため感染制御に関連する多職種の人材育成や、行政支援などのさまざまな取り組みを行っていきます。病院内における感染制御は医療の質に直結する大事な基盤の部分です。感染症対策はやらなければ100%感染し、一生懸命することで感染を0%にできるものではありません。私たちは、医療環境や社会生活の中で実現可能な手段を用いて、感染の可能性をできるだけ下げることが目的にしています。また感染症の診断と治療は著しく進歩しており、感染症専門医の立場から最新の情報をもとに、適切な感染症予防や診療を提供・発信していきます。医療の品質を上げるためにも、継続的な感染対策にご協力ください。



PROFILE

たうちひさみち◎1989年愛媛大学医学部卒業。1999年より当院にて勤務。専門は小児科・感染症。日本血液学会専門医・指導医、日本感染症学会感染症専門医・指導医。2023年より現職。趣味はネコ。



感染制御学講座
ホームページ



前回掲載記事
「新型コロナウイルス感染症対策特集」
INVITATION67号